

学校名 川越市立<sup>なぐわし</sup>名細小学校

所在地 川越市大字小堤214

電話 049-231-2216

## 1 本校の概要

本校校名の「なぐわし」は、人麻呂の歌「名細（なぐわし）き 稲見の海の 沖津浪 千重に 隠りぬ 山跡島根は」に由来しているという。児童数は684名である。すぐ横を小畔川が流れ、学校ファームで野菜を育てる等、自然環境を生かした教育活動を進めている。

## 2 本校の実践

### （1）実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に関わる取組
- ・学力向上に結びつけた取組

### （2）実践の概要

#### 読書タイム

毎週月曜日の朝15分間が「読書タイム」で、教師も一緒に教室で読書する。静かに読むことで落ち着いて1週間を始められる。また、1年～3年と特別支援学級に、ボランティアによる読み聞かせを実施している。季節や児童の実態に合う内容の本を毎回用意してくださり、歌や手遊びなども行っている。

#### 読書月間（10月）

低学年15冊・中学年10冊・高学年6冊の目標冊数を決め、1か月間取り組む。読書月間のまとめとして、各自おすすめの本の紹介を書いて、教室の廊下に掲示する。

#### 〈読書ビンゴ〉

0類から9類、絵本、各学年で指定しているお薦め本、先生のお薦め本という項目でビンゴ表を作り、1ヶ月間挑戦する。

#### 〈先生のお薦め〉

読書月間前に先生にお薦めの本を選んでもらい、本を持つ先生の写真を図書室廊下に掲示する。図書室内にもコーナーを作る。



#### 〈読書集会（児童委員会）〉

全校児童がボランティアの方と図書整理員に感謝の手紙を書き、図書委員会が読書感謝集会で手渡している。また、図書委員が図書室や本に関するクイズで知識を広めたり、プ

ロジェクターで本を拡大して読み聞かせを行ったりした。

#### 掲示物

季節やその時期の行事に合わせて、図書整理員が図書室内外の掲示を行っている。また新着図書は実物のカバーを廊下に掲示し、目を惹くように紹介している。

#### 授業での活用

年間指導計画に基づき、且つ昨年度の教員の満足度を加味して年間の活用計画を作成して教員に配布した。必要に応じて所蔵図書と団体貸出の図書を合わせて各学年に別置き、並行読書や調べ学習に活用した。また教員に適切な資料を紹介し、教員から児童に提示して意欲、興味づけに利用した。12月までの図書館活用回数は約450回で、主な活用例としては、1年：乗り物、2年：動物クイズ、昔話、3年：働く犬、野菜栽培、4年：バリアフリー、5年：伝記、6年：職業調べ、及び各学年：並行読書、などである。



#### 図書の選定・除籍

年度初めから必要な図書を確認し、カタログや展示会を見て選定する。読み物関係の図書は、主に図書整理員が日頃から児童の希望や読書傾向を把握して選定する。学習に必要な図書は、年間計画に基づきできるだけ自校で賄えるように購入する。除籍については、古くなった本、複本を除籍し、まだ使用に耐えるものは学級文庫に入れる。学級文庫は年1回図書委員がチェックして、少しずつ更新している。

## 3 成果と今後の課題

毎年行っている取組により、本が好きな児童は多くなっている。読書ビンゴは普段読まない分野の本にも触れる効果がある。また授業における図書の活用が増え、教員間でも図書活用の意識が高まってきている。

しかし図書の活用はまだ十分とは言えず、さらに適切な資料の紹介、提示をして活用の場を多くすると共に、さらなる有効な活用の方法を探っていきたい。

